

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 関市

自治体名：岐阜県関市

担当課名：関市教育委員会学校教育課

電話番号：0575-23-7719

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	472.33 km ²
人口	84,024 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	2,379 人
部活動数	78 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【関市の現状】

令和7年度末までに、市内全中学校の休日部活動を地域移行することを目標とし、部活動に代わる新たな活動の場として「関市地域クラブ登録制度」を立ち上げることとした。

令和5年4月には、教育委員会学校教育課を中心とした「関市部活動地域移行協議会」を立ち上げ、年4回の会議を実施する中で、学校部活動調査やスポーツ協会へのアンケート調査を実施し、部活動の現状と地域移行についての意見の集約を行った。同時に「関市地域クラブ活動推進会議」を開催し、現在活動している部活動、部活動育成会や総合型地域クラブの方々から広く意見を伺い、地域クラブ設置における課題の精選を行った。

令和6年4月から関市地域クラブ登録制度を開始した。部活動育成会を中心に15クラブの登録からスタートし、現在は23クラブ、12種目の登録があり、中学生404人の小学生48人、指導者162人 全614人が所属し、活動を行っている。

【関市地域クラブの課題】

①財源の確保

部活動に代わる活動の場として参加者の受益者負担を軽減し、経済的理由で諦めることなく参加できる体制を目指している。現在各クラブへは実証事業の交付金と市費を財源に指導者謝金を支給して支援をしている。また、本市では地域クラブコーディネーターを専属で任用しており、地域クラブ化の推進に多大な貢献をしている。

今後さらに移行を進めるためにはクラブへの経済支援やコーディネーターの雇用継続のため財源を確保する必要がある。

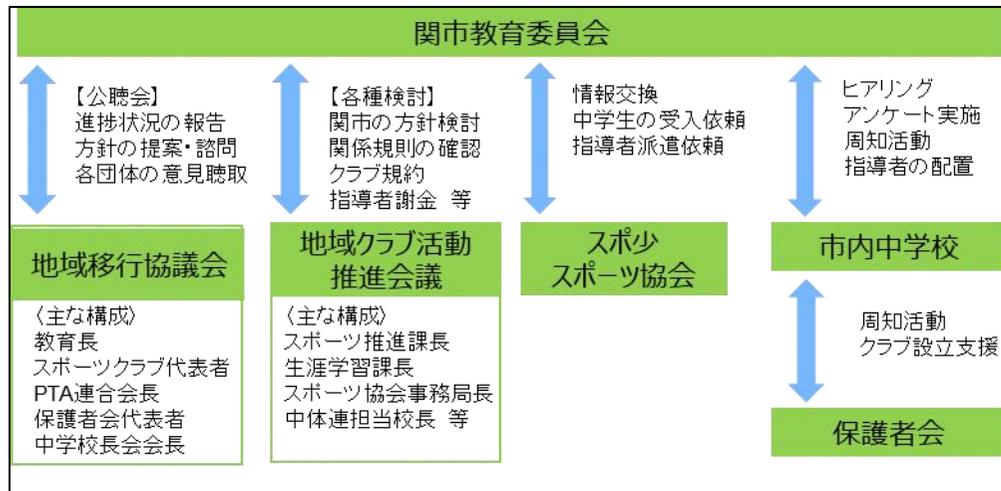
②登録種目の偏りと指導者不足

地域クラブの登録数は当初の想定よりも順調に増加している。しかし、指導者が見つからずクラブ登録がない種目があること、登録のある種目においても、保護者が中心となって運営をしているため専門的な技術指導者がいない、また指導者が少なく、生徒の増加に対応できないといった課題がある。生徒のニーズを満たすためにも専門的指導ができる人材を確保する必要がある。

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・関市地域クラブ登録制度の運営・管理、地域移行協議会の開催（学校教育課）

◎首長部局

・地域移行協議会への出席（スポーツ推進課、文化課、生涯学習課）

年間の事業スケジュール

月	主な活動内容
4月	第1回関市地域クラブ協議会実施 地域クラブ指導者説明の実施（謝金関係）
5月	関市地域クラブ指導者養成講習会実施 中学校部活動人数調査の実施
6月	第2回関市地域クラブ協議会実施 市内各中学校長との情報交換
7月	次年度予算計画の作成 第1回関市地域クラブ活動推進会議の準備
8月	近隣市町村の状況調査
9月	第3回関市地域クラブ協議会実施 地域クラブ指導者説明会の実施（謝金関係）
10月	関市公式ホームページ内に地域クラブに関する情報を掲載
11月	第1回関市地域クラブ活動推進会議実施 関市地域クラブ運営組織設立に向けた準備
12月	関市地域クラブ連絡協議会準備委員会実施
1月	地域クラブ登録更新作業
2月	関市地域クラブ連絡協議会設立総会実施
3月	地域クラブ指導者説明の実施（謝金関係）
通年	関市地域クラブ登録管理、地域クラブ指導者活動月報管理、謝金支給の事務処理

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	9校	実施した地域クラブ総数	22クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		20クラブ（34部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	0人	全体の運営スタッフ数	2人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
緑ヶ丘中陸上クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	陸上	月2～3回	8:30～	中1 7人 中2 8人 中3 7人	4月～3月	市営グラウンド	2人	2人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
旭ヶ丘中陸上クラブ	同上	陸上	月2～3回	8:30～	中1 4人 中2 7人 中3 6人	4月～3月	市営グラウンド	2人	2人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
桜ヶ丘中陸上クラブ	同上	陸上	月2～3回	8:30～	中1 8人 中2 5人 中3 10人	4月～3月	市営グラウンド	2人	2人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
下有知中陸上クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	陸上	月 2～3回	8:30～	中1 0人 中2 6人 中3 4人	4月～3月	市営グラウンド	2人	2人	年会費 7,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ブルーネクス	同上	野球	土日どちらか1日	8:30～	中1 5人 中2 12人 中3 7人	4月～3月	中学校グラウンド	3人	3人	年会費 24,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
BC関	同上	野球	土曜日または日曜日	8:30～	中1 29人 中2 10人 中3 23人	4月～3月	中学校グラウンド 市内グラウンド	5人	5人	年会費 26,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
FC関	同上	サッカー	土日	9:00～ 12:00	中1 0人 中2 14人 中3 19人	4月～3月	中学校グラウンド 市内グラウンド	8人	8人	年会費 10,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関ラグビースクール	同上	ラグビー	土日	9:00～ 12:00	中1 2人 中2 4人 中3 6人	4月～3月	市内グラウンド	10人	10人	年会費 15,000円	その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
キウイスポーツクラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	ソフトテニス	水曜日 日曜日	水 19:30 ～ 日8:30 ～	中1 0人 中2 2人 中3 6人	4月～3月	市営テニスコート	2人	2人	年会費 18,200円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ジュニアステップアカデミー	同上	硬式テニス	日曜日	8:30～	中1 2人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	市営テニスコート	4人	4人	年会費 2,000円 1回500円	その他：地域クラブ
瀬尻バレーボールクラブ グリファニー	同上	バレーボール	金・日（隔週） 土曜日	18:30～	中1 2人 中2 7人 中3 0人	4月～3月	小学校体育館	3人	3人	入会費500円 1回100円	その他：地域クラブ
金龍会	同上	バレーボール	土曜日 木曜日（隔週）	土8:45～ 木19:00～	中1 10人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	4人	4人	月会費 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
津保川・富野バレーボールクラブ	同上	バレーボール	土日	9:00～	中1 7人 中2 2人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	4人	4人	年会費 4,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
武芸川VC	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	バレーボール	土日	9:00～	中1 6人 中2 1人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
小金田Jr	同上	バスケットボール	土日	9:00～	中1 6人 中2 13人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	2人	2人	月会費 1,000円 年会費 2,500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関ジュニアバスケットボールクラブ	同上	バスケットボール	土日	8:30～	中1 5人 中2 1人 中3 3人	4月～3月	中学校体育館	5人	5人	月会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
緑ヶ丘バドミントンクラブ	同上	バドミントン	平日2回 休日1回	18:00～	中1 14人 中2 7人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	2人	2人	1回500円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
富野卓球クラブ	同上	卓球	平日2回 休日1回	平日 16:00～ 休日 8:30～	中1 2人 中2 5人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	年会費 3,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
武芸川卓球クラブ	教育委員会と地域の団体・保護者会が連携	卓球	平日2回 休日1回	19:00～	中1 6人 中2 1人 中3 0人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費 2,000円	中体連：部活動 その他：地域クラブ
関東剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	8:00～	中1 2人 中2 1人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	3人	3人	月会費500円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関中央剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	9:00～	中1 5人 中2 4人 中3 5人	4月～3月	中学校体育館	8人	8人	月会費500円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
関南剣道クラブ	同上	剣道	土日どちらか1日	9:00～	中1 1人 中2 5人 中3 6人	4月～3月	中学校体育館	5人	5人	年会費 6,000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

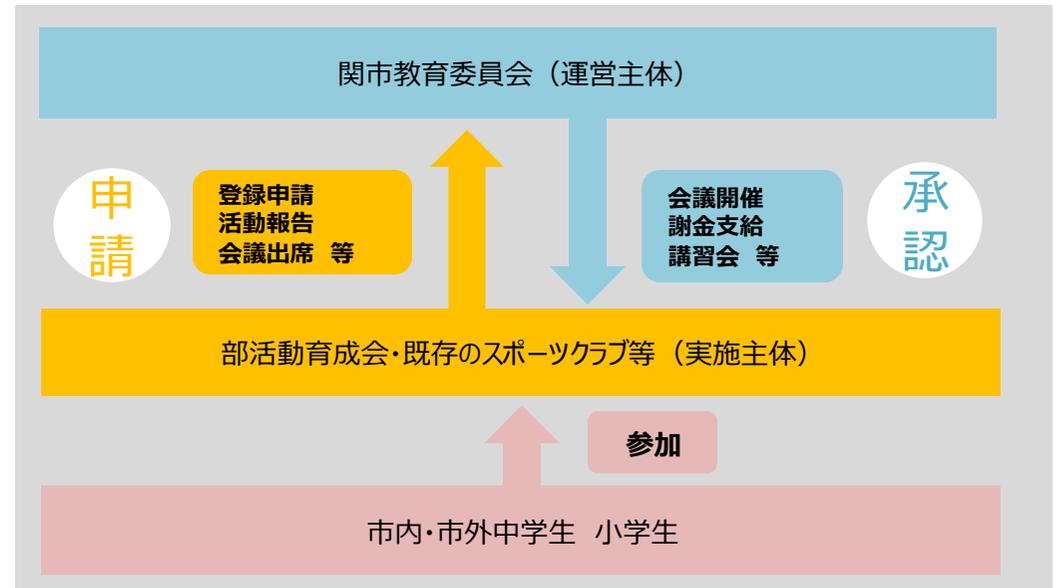
2.実証内容と成果

主な取組例

● 関市地域クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上、軟式野球、サッカー、ラグビー、ソフトテニス、硬式テニス、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球、剣道
運営団体名	関市地域クラブ
期間と日数	4月1日～3月31日 月4～8回程度
指導者の主な属性	社会人、中学校教員
活動場所	中学校体育館・グラウンド 市営体育館・グラウンド 等
主な移動手段	保護者送迎、自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	4,000円～26,000円（種目による）
1人あたりの保険料	各種目ごとに加入

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
 - 役割：関市地域クラブ全体の運営、会議の開催、予算編成、執行
- 指導者
 - 役割：競技の技術指導、安全確認、保護者連絡等
- クラブ代表者・連絡責任者、会計
 - 役割：会議出席、大会申込、情報伝達、会計 等

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○地域クラブコーディネーターを配置し、各中学校、関係団体、市長部局との連絡調整、指導助言等を行う。

○本市の部活動地域移行に係る全体計画の作成を行う。

○地域移行に関する説明資料の作成、関係機関に対する説明を行う。

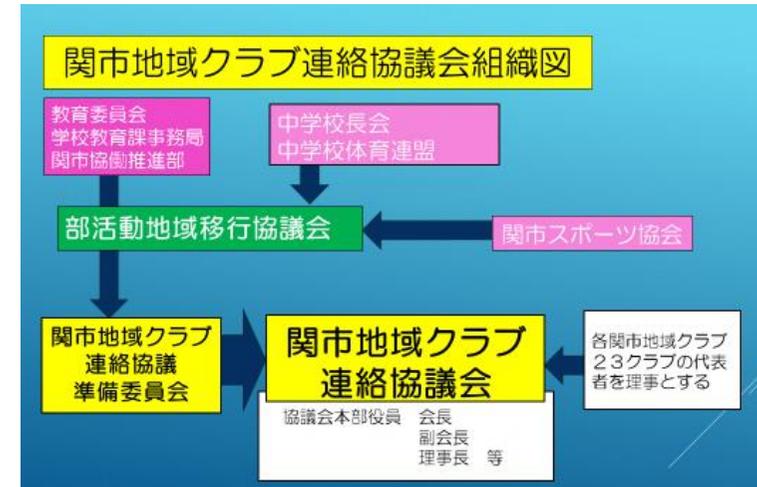
○関市地域クラブの運営全般に係る業務を行う。

取組の成果

○中学校部活動やスポーツ関係団体とのつながりの深い地域クラブコーディネーター（元小中学校教諭。退職後、市役所にてスポーツ少年団を管轄する業務を担当）を配置した。それにより関係機関とのスムーズな連携を図ることが可能となり、地域移行を前進させることに貢献している。

特に、地域移行後の運営組織の設立に向け各市長部局、スポーツ協会や地域クラブ指導者といった関係各所とのつながりを生かし、新組織「関市地域クラブ連絡協議会」の立ち上げを実現させた。（右図参照）

その他には教育委員会会議やスポーツ協会などが開催する各種会議に出席し、現在の取組や今後の方向性を説明し、本市の部活動地域移行の周知活動を行った。



コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・部活動地域移行全体計画の作成および会議、説明会の実施
- ・登録申請書、登録名簿等各種様式の作成
- ・関市地域クラブの登録受付、一覧作成、中学校への情報提供
- ・指導者との連絡調整、謝金支給に係る月報、残時間の管理

今後の課題と対応方針

- 今後、平日を含めた部活動の完全移行を目指している。完全移行後も学校との連携を維持していくため、学校と地域クラブを繋ぐ体制を構築していく必要があると考える。両者に精通したコーディネーターを継続して配置し、移行を円滑に進めたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組事項

【関市地域クラブ指導者養成講習会】

関市地域クラブは既存の中学校部活動育成会（保護者会）を母体として地域クラブ化したチームが多く、専門的な指導経験や知識を有しない保護者が役員として活動を見守ることがある。生徒が安心してクラブ活動に参加できる体制を整備するため、市独自の講習会を年間2回実施した。

指導者研修の内容

【対象】

- (1) 受講する者は、関市地域クラブに所属する者。
- (2) 将来関市地域クラブで指導者として活動を希望する者。
- (3) 18歳以上の者。（高校生の受講者はアシスタントコーチとする。ただし、アシスタントコーチのみでの指導は行えないものとする）

【内容】

- (1) 指導者としての心構え
・責任と役割 ・ガバナンスコードについて・ハラスメントの撲滅
- (2) 安全なスポーツ環境
・活動時の安全管理（危機管理・CPRの方法等）
- (3) 指導理論
・中学生期の指導の在り方 ・プレイヤーズセンターのコーチング

【講師】

関市地域クラブコーディネーター

【受講料】

無料

指導者研修の参加実績

【第1回】

- ・開催日：令和6年5月19日
- ・参加人数：28人

【第2回】

- ・開催日：令和6年9月28日
- ・参加人数：28人

受講者の声

「成長期における身体の発達段階について詳しく知ることができました。練習の内容、回数、食事、休養など中学生の成長に合わせた活動を考えていきたいと思います。」

「事故やけがの予防、緊急事態が発生した時の対応など、安全確保に関する知識を学ぶことができました。体の接触が多い競技に関わっているのでAEDの実演はとて有難かったです。今回学んだことを日々の活動に生かして安全に活動ができるように努めていきたいです。」

取組の成果

講習会の内容について受講者より高評価をいただいた。次年度以降も講習会を継続的に実施し、安心、安全なクラブ運営を支援していきたい。

今後の課題と対応方針

指導経験のない保護者の受講を想定した講習会のため、内容について時間、回数の負担を軽減を念頭に必要最低限とした。今後は受講者の声をもとに時間、回数等を再検討し、内容の充実を図ってきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

【指導者謝金支給事業】

今年度より、関市地域クラブ登録を開始したが、指導者の不在を課題とする団体も多くあり、設立を目指す育成会（保護者会）から謝金支給の支援を求める声があった。

そのため、指導者確保支援として実証事業を活用した指導者謝金支給事業を実施することとした。

自治体の役割

関市教育委員会学校教育課

- ・予算編成、執行
- ・謝金支給規定の作成
- ・登録申請書、登録名簿等各種様式の作成
- ・説明会の実施
- ・指導実績簿の受領、残時間の管理
- ・指導者との連絡調整

支給要件

【給付対象人数】

1クラブ最大3名までとする

【支給対象者条件】

- 1) 関市地域クラブに登録しているクラブの指導者で、教員免許状所有者、または関市地域クラブが定める指導者資格を有している者
- 2) 今年度、関市教育委員会が行う関市地域クラブ指導資格養成講習会に参加を予定している者（5月にある関市地域指導資格養成講習会に必ず出席し資格を取得することを条件）

【支給対象期間、指導時間等】

- 1) 当該年度の4月から1月末まで
- 2) 休日（土日、祝祭日）の活動を支給の対象とする。ただし、原則として土日のうちいずれか1日は休養日とすること。長期休業中も同様である
- 3) 1日の指導時間は原則3時間以内とすること
- 4) 大会引率等の場合は、1日の活動時間は8時間以内を原則とし、生徒の負担軽減に配慮する

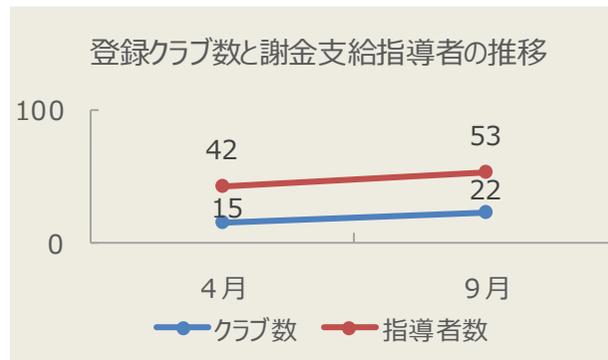
【給付金額】

1時間当たり1,000円、年間最大105時間とする

取組の成果

・謝金があることで指導者を依頼する際の心理的負担が軽減され、指導者を確保することができたという声があった。

・クラブ活動費の受益者負担を軽減し、クラブに参加する生徒の経済的支援にも繋がった。



今後の課題と対応方針

支給の条件を1クラブ3名を上限としたため、指導者が多いクラブでは、どの指導者を受給対象とするかを決めるのが難しいという意見があった。また、クラブ間で参加生徒数の差があるため、規模に応じた支援を検討する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

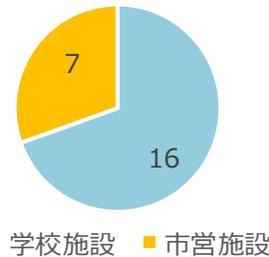
取組事項

関市地域クラブは既存の中学校部活動育成会（保護者会）を母体として地域クラブ化したチームが多く、地域クラブ移行後も学校施設での活動を想定している。そのため、関市地域クラブに登録のあるクラブについては、部活動と同様に学校施設を使用できるよう、教育委員会規則の改正および各施設の使用料減免措置に関する手続きを行った。

取組の成果

現在関市地域クラブに登録している全クラブが学校施設、または市有施設を利用している。学校施設の優先使用、使用料の減免といった措置を図ることによってこれまでの部活動と同様に低廉な参加費で活動できるように改正した。

各クラブの主な活動拠点



【学校施設使用種目】

バスケットボール、バレーボール、サッカー
卓球、剣道、バドミントン、野球

【市営施設使用種目】

硬式テニス、陸上
ソフトテニス、ラグビー

関市学校施設の開放に関する規則

改正後	改正前
(使用料の減免の額等) 第 12 条 前条第 2 項の規定により照明料を減免できる額は、次の各号に掲げる使用の区分に応じ、当該各号に定める額とする。 (1) 市、教育委員会又は関市スポーツ少年団及び関市地域クラブが主催し、又は共催する事業等に使用するとき 照明料の全額	(使用料の減免の額等) 第 12 条 前条第 2 項の規定により照明料を減免できる額は、次の各号に掲げる使用の区分に応じ、当該各号に定める額とする。 (1) 市、教育委員会又は関市スポーツ少年団が主催し、又は共催する事業等に使用するとき 照明料の全額

【教育委員会規則の改正】

今後の課題と対応方針

学校施設の開放については各学校が調整会議を開催し、使用を希望する各団体の調整を行っている。今後は地域クラブ優先使用を広く周知し、学校、各団体の理解を深め、円滑な調整が図られるようにしていく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

昨年度から実証事業に取り組み、2年目となる今年度は、本格的に関市地域クラブ登録制度を開始した。地域クラブの運営団体として以下の事項について取り組んだ。

①地域クラブの登録、管理

- ・登録受付、データ入力、登録証の発行、加入状況の分析、クラブ紹介の作成、広報活動等

②指導者謝金の支給

- ・説明会の実施、月報の確認、上限時間管理

③指導者講習会の実施

- ・経験の乏しい指導者や保護者を主な対象として年2回実施

④協議会の開催、関市地域クラブ連絡協議会の立ち上げ

- ・移行後の自主的な運営を目的として各クラブ代表者からなる新たな組織を設立

本格移行初年度として順調にクラブ活動を展開することができた。次年度以降の安定的な運営に向けた課題の検証と移行が完了していない部活動への支援に取り組んでいきたい。

●成果の評価

今年度より関市地域クラブ登録制度を開始し、申し込み開始から約1か月で15クラブの申請があった。初年度として想定していた数を大きく上回っており、昨年度から進めてきた取り組みが順調に進んでいることを実感した。中体連大会後の8月には8クラブの登録があり、現在は12種目、23クラブが活動している。複数の中学校から集まって活動するクラブも多く、人数不足による活動の制限や、活動の選択肢が限られるといった学校部活動が抱えていた問題点が解消され、生徒がやりたいことに挑戦する機会を提供できたことは成果と言える。クラブの母体の多くは部活動育成会であり、部活動顧問の働きかけが必要不可欠であると考え、中学校と連携して取り組んだことによりクラブ化を前進させることができた。また、指導者講習会を実施することにより活動の質を向上させ、生徒にとって安心して参加できる環境を提供することができた。

●今後に向けて

今後は平日を含めた部活動の完全移行を目指しており、学校との繋がりが希薄になることが懸念されるため、連携体制の構築を課題として取り組む必要がある。また、地域クラブ活動の拡大に伴い、他市との連携した活動の必要性も考えられる。そのため、地域の実情をよく知り、学校や部活動の経験と関係各所に人脈を持つコーディネーターの果たす役割は大きく、今後さらに地域移行を進めるために継続して関わっていただきたいと考えている。現在は実証事業の交付金を活用しているが、継続雇用に向けた自主財源の確保も課題の一つである。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【実技指導】



【実技指導】



【大会出場】



【親睦会】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

- ・先進的に取り組んでいる市町村、近隣市町村の訪問、情報収集。
- ・市内中学校の訪問、学校長と面談。部活動の状況や移行に向けた課題など情報を共有。
- ・県主催の推進会議に出席。先進事例の情報収集、課題の共有。
- ・収集した情報をもとに移行に向けたロードマップを作成。
- ・移行に向けた組織の立ち上げと会議の開催を計画。

出席者
教育長、スポーツ団体代表者、育成会代表者、PTA連合会長、中学校校長、関係部局課長、スポーツ協会事務局

実施回数
年2回（11・2月）

主な議題
地域移行の概要、経緯の説明。
今後クラブの実施主体となりうる関係者からクラブ化に必要な要件、指導者の確保、費用負担等課題等について意見を聴取。
6年度の登録制度開始に向けた方針の説明と協力を依頼。

- 4月：関市地域クラブ活動の開始
8種目、15クラブが登録
 - 5月：指導者謝金支給開始
第1回指導者養成講習会実施
 - 8月：中体連大会終了、3年生引退
新体制を機に8クラブが登録
種目数が12種目に増加
 - 9月：指導者謝金追加申込受付
第2回指導者養成講習会実施
- クラブ一覧を中学生に配布、関市HPにも掲載

令和5年

情報収集
方針の検討

部活動地域移行協議
会設置

関市地域クラブ活動推
進会議開催

生徒・保護者へ説明

令和6年

関市地域クラブ登録制
度の開始

出席者
関係部局課長、中学校校長、スポーツ協会事務局

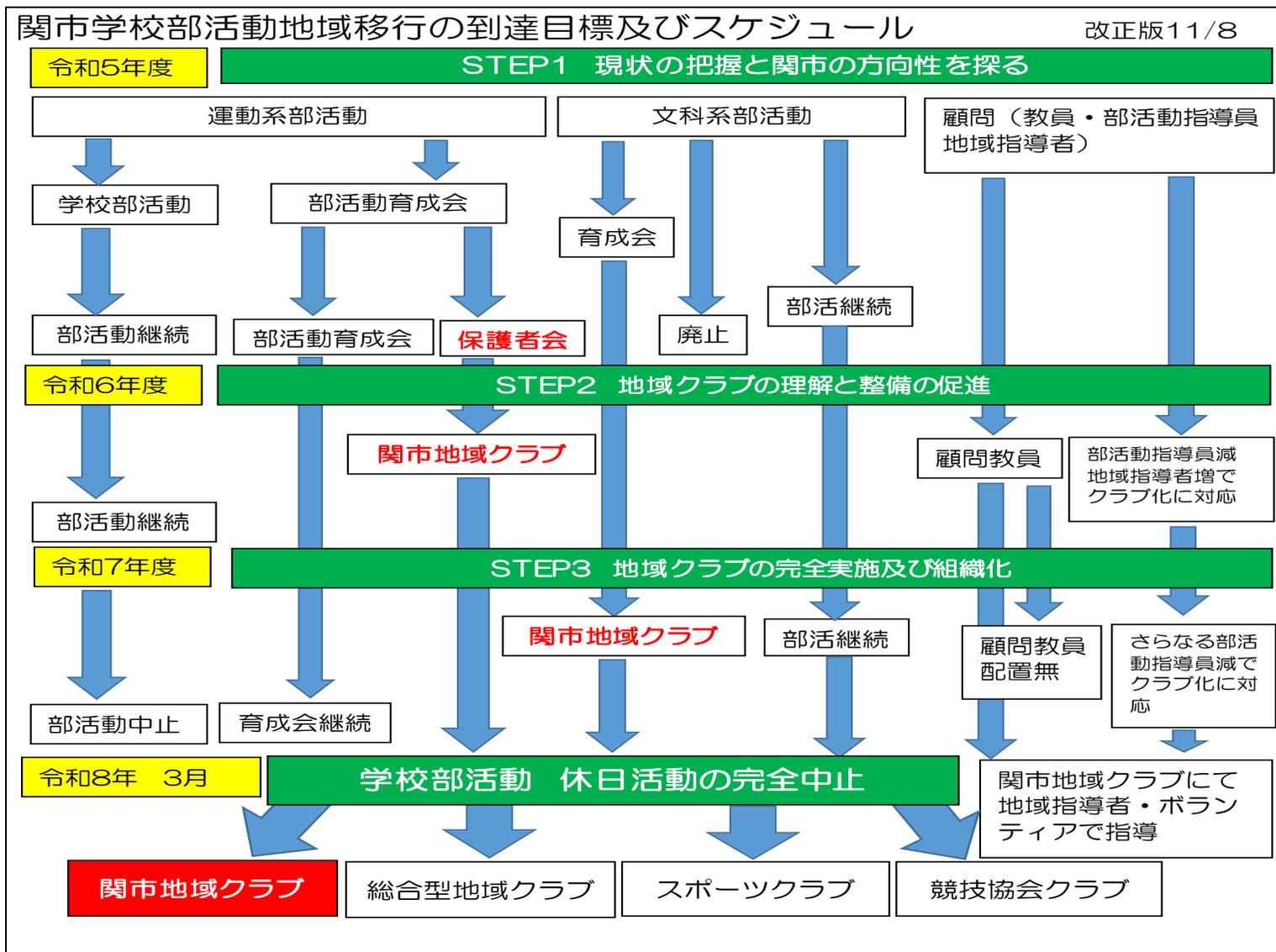
実施回数
年4回（4・6・9・1月）

主な議題
先進事例、近隣市町村の情報共有。
休日部活動の地域移行について方針を検討。令和7年度末で活動を終了し、8年度から完全移行することを確認。令和6年度より地域クラブ登録制度を開始する方針を確認。
移行後の運営主体について検討。

- 1. 部活動育成会代表者への説明会**
 - ・地域クラブの主な実施主体として想定している部活動育成会の代表者を集めて1月に実施。
 - ・部活動の抱える課題を説明し、地域移行の必要性について理解を求めた。
 - ・次年度から開始を予定している地域クラブ登録制度を説明し、クラブ化の協力を依頼した。
- 2. 説明資料の作成・配布**
 - ・中学生、小学校5・6年生を対象に移行に関する広報資料を学校を通して配布した。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 中津川市

自治体名：岐阜県中津川市

担当課名：学校教育課

電話番号：0573-66-1111

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	676.45 km ²
人口	73,613 人
公立中学校数	12 校
公立中学校生徒数	1,903 人
部活動数	部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	部活動地域移行検討委員会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

【現状】

中津川市は20年前に1市3町4村が合併して生まれた自然豊かな市である。市の人口減少が進み、市内12中学校のうち、小規模校が10校となっている。

平日部活動は、顧問教員が指導しているが、休日や平日夜間の活動については、多くが保護者等を指導者とした保護者クラブ等で運営されている。近年は、保護者クラブも学校単位では運営できないため、合同クラブ化が進んでいる。

【課題】

「保護者クラブ等」は、独自の規約をもって活動しており、長時間の活動による生徒の健康や学業に影響がでる可能性があるため、ガイドラインの制定と周知が必要である。

保護者クラブ等では、人数が減少し、チームが編成ができないクラブもある。そのため今後はさらなる統合が必要となる。

それに伴い、生徒の移動手段の確保や指導者の調整、クラブに対する市としてのサポートの在り方について今後検討を深めていく必要がある。

0～14歳の子どもが減り続ける一方、65歳以上の高齢者は増加
15～64歳人口は1995年頃から減少が続く

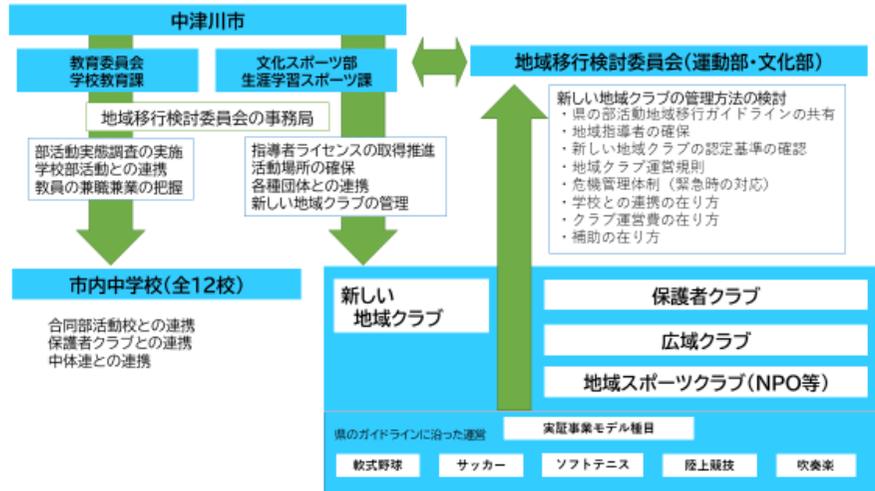


東西28キロ
南北49キロ
県内6番目の面積

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（学校教育課）

- ・中津川市地域クラブガイドライン作成
- ・保護者クラブ等の把握
- ・指導者研修案内推進

◎文化スポーツ部（生涯学習スポーツ課）

- ・検討委員会開催
- ・地域クラブ把握（スポーツ・文化）

年間の事業スケジュール

令和6年4月 実証事業団体者
説明会

令和6年5月 実証事業スタート

令和6年6月 地域クラブ指導者
育成研修（東濃）に参加

地域クラブ指導者
育成研修（飛騨）に参加

令和6年7月 地域クラブ把握
スポーツ課、
教育委員会

令和6年9月 地域クラブへ
ヒアリング

令和6年10月 中津川市ガイドライ
ン原案作成

令和7年3月 中津川市検討委員会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	12校	実施した地域クラブ総数	10クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		10クラブ（10部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	47人	全体の運営スタッフ数	42人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 <small>※新規のものは末尾に（新）を付ける</small>	実施回数	実施時間帯	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 <small>（他クラブと兼務）</small>	会費	大会参加方法
中津川トラック&フィールドクラブ	教育委員会 生涯学習スポーツ課	陸上競技	月12回/ 週3回	平日夜 休日	平日 18時～ 休日 9時～	中津川公園競技場	4人	3人 <small>（内、兼務0人）</small>	月会費3000円	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
中津川ソフトテニスクラブ	教育委員会 生涯学習スポーツ課	ソフトテニス	月12回/ 週3回	平日 休日夜	平日 18時～ 休日 9時～	中津川公園テニスコート	8人	3人 <small>（内、兼務0人）</small>	不明	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
ONE-K	教育委員会 生涯学習スポーツ課	ソフトテニス	月4回/ 週16回（	平日 休日夜	平日 18時～ 休日 9時～	中津川公園テニスコート	5人	3人 <small>（内、兼務0人）</small>	月会費3000円/	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ
スモールスターズ	教育委員会 生涯学習スポーツ課	ソフトボール	月2回/ 週8回	休日	休日 9時～	恵那西中グラウンド	5人	3人 <small>（内、兼務0人）</small>	不明	中体連：地域クラブ その他：地域クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

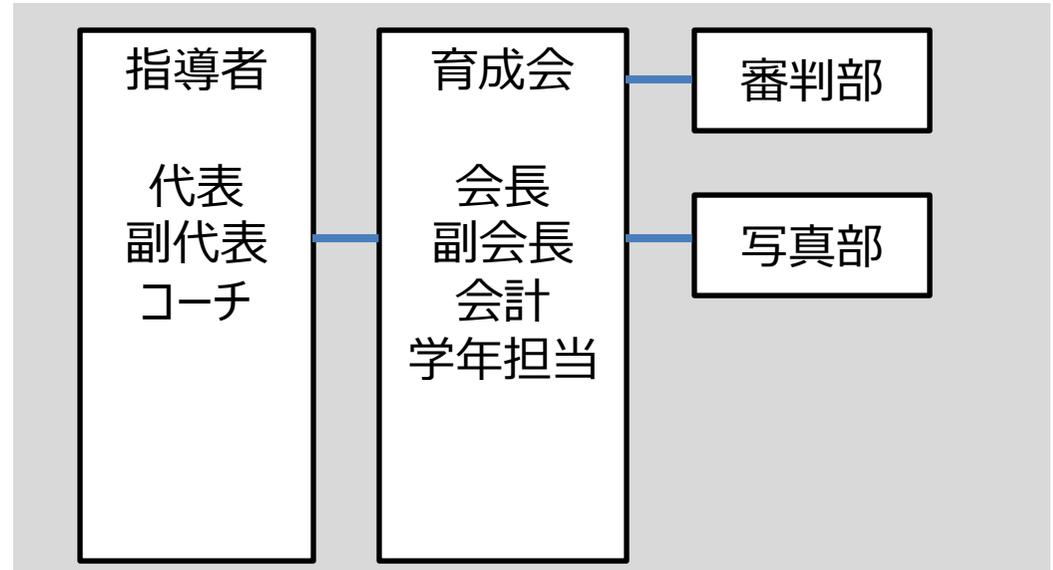
クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは末尾に (新)を付ける	実施回数	実施時間 帯	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
付知フットボールクラブ	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	サッカー	月 12回/ 週 3回	平日夜 休日	平日 18時～ 休日 9時～	付知中グラ ウンド	3人	6人 (内、兼務0 人)	月会費 3,000円/人	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ
中津川フットボールクラブ	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	サッカー	月 16回/ 週 4回	平日夜 休日	平日 18時半～ 休日 8時～	多目的広 場	9人	6人 (内、兼務0 人)	月会費 3,000円/人	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ
落合坂本麗澤中学校	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	サッカー	月 12回/ 週 3回	平日夜 休日	平日 18時～ 休日 9時～	落合中グラ ウンド	2人	6人 (内、兼務0 人)	不明	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ
付知・福岡中学校	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	野球	月 8回/ 週 2回	休日	休日 8時～	福岡中グラ ウンド	4人	6人 (内、兼務0 人)	0円	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ
第二クラブ	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	野球	月 8回/ 週 2回	休日	休日 8時半～	王子グラウ ンド	3人	6人 (内、兼務0 人)	不明	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ
中津川ベースボールクラブ	教育委員会 生涯学習 スポーツ課	野球	月 8回/ 週 2回	休日	休日 9時～	坂下中グラ ウンド	4人	6人 (内、兼務0 人)	不明	中体連：地域 クラブ その他：地域ク ラブ

主な取組例

● 中津川フットボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営団体名	教育委員会、生涯学習スポーツ課
期間と日数	サッカー：5月1日～3月31日 月16回程度
指導者の主な属性	社会人、教員
活動場所	公共施設、学校施設
主な移動手段	徒歩、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：36,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 代表者 1名（クラブ運営）
役割：クラブの管理、運営を行う
- 育成会長 1名（育成会内の保護者代表）
役割：育成会の取りまとめ、指導者との連絡を行う
- 各学年担当 3名
役割：育成会長からおりてきた情報を担当学年に連絡を入れる
- 審判部、写真部
保護者等に手伝ってもらっている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・県派遣のコーディネーターと中津川市教育委員会・文化スポーツ部が連携し、連絡調整、指導助言を行う。
- ・代表者会議、検討委員会の企画と運営を行う。

取組の成果

- ・中津川市では、休日の運動部の活動を地域への移行を進めるために検討委員会を企画し、開催した。
- 以前より部活動に参加している生徒の保護者が主体となって、休日は保護者クラブとして活動が行われてきた実情から、保護者クラブを基盤に地域クラブへと移行していくことを共通理解した。
- ・持続可能な活動とするために、課題を把握した。
- ・学校にやってみたい部活動がない生徒が学校をまたいで参加することが可能となった。
- ・小学生の頃はスポーツ少年団に入団しており、好きな活動ができていた。中学校に入学し、平日は学校にある部活動で活動し、休日は自分の好きなスポーツを選んで取り組む生徒がいる。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・準備委員会、検討委員会への参加依頼
- ・県や他市の動きの情報提供

今後の課題と対応方針

- ・団体が県のガイドラインを遵守しているかが不透明であるため、代表者会議等で遵守してもらえるように依頼していく。
- ・中津川市ガイドラインを作成し、ガイドラインを遵守している地域クラブを認定し、地域クラブ一覧に掲載する予定である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

- ・（公財）岐阜県スポーツ協会ライセンス取得を推奨する。
- ・指導者育成研修会への参加に係る旅費の支払いを行う。
- ・現存する市内約60チームの指導者に対して、休日部活動の地域移行について説明し、地域移行の理解を進める。

取組の成果

- ・全中学校の生徒を通じて、保護者に向けて岐阜県スポーツ協会の地域クラブ指導者研修会の案内を送付して依頼した。
- ・サッカーとソフトテニスの指導者2名が指導者研修会に参加した。
- ・ライセンス取得後は、選手の成長を考えたポジティブな言葉が増えてきたと聞いている。

コーディネーターの具体的な実績

- ・コーディネーターなし

今後の課題と対応方針

- ・地域スポーツクラブ活動の要件等を踏まえ、要件や基準等を調整して設定し、登録して進めていく必要がある。
- ・公的支援を進めていけるように体制整備をする必要がある。
- ・コーディネート業務を担う人材の発掘、報酬等の検討を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

岐阜県地域クラブ指導者育成研修会

- ・部活動指針、部活動ガイドラインに沿った研修
- ・スポーツ医・科学に関する研修
- ・効果的なスポーツ・文化芸術の指導方法についての研修

受講者の声

- ・生徒を成長させるいい機会となった。
- ・毎年参加して、指導者のスキルを高めたい。
- ・会場が遠方にあり、参加するのが大変。
- ・認定証の有効期限が短い。

今後の課題と対応方針

- ・岐阜県の研修に参加する人数を増やす必要がある。
- ・広く周知していく必要がある。
- ・市町村で独自の研修会を開催する必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・検討委員会開催
- ・代表者会開催
- ・指導方針の確認

取組の成果

中津川市の休日部活動の地域移行検討委員会のメンバーには、中津川市体育協会会長、スポーツ少年団理事長、中体連会長、理事長、中津川市PTA連合会会長の会長をはじめ、様々な分野の方で組織した。

- ・中津川市の部活動数、各種大会の報告、部活動地域移行の現状等について共通理解ができた。
- ・それぞれの団体が抱えている課題や要望を聞くことができた。

メンバー

中学校校長会長、中体連担当校長、中体連理事、PTA連合会会長、体育協会、文化協会専務理事、スポーツ推進員、スポーツ少年団理事長、実証事業参加チーム代表者、東濃地区地域クラブコーディネーター、事務局（生涯学習スポーツ課、学校教育課）

今後の課題と対応方針

運営団体については部活動地域移行検討委員会にて検討している。

今後は中津川市地域クラブに登録して進めていく予定である。

登録の要件は、ガイドラインの順守、代表者の位置づけ等を検討してすすめていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ・実証事業に参加している地域クラブに関連する団体とともに、中津川市全体の子どもたちを受け皿とするチーム数や活動拠点について検討する。
- ・その他の部活動種目について、実証事業参加クラブの取組を周知していく。

各自治体の役割

- 中津川市教育委員会
- ・代表者会運営
 - ・関係機関との連絡、調整
 - ・理解促進に向けての広報
 - ・指導者謝金管理

移動手段

徒歩や保護者送迎

事務局運営の方法

- 中津川市教育委員会、生涯学習スポーツ課と連携しながら進める。
- クラブに月ごとの活動を指導者月報として提出してもらい、指導者に謝金として支払う。

取組の成果

- ・実証事業参加クラブの代表者を検討委員会のメンバーとして招集し、取組の様子や運営上の課題等を共有することができた。主な課題としては、選手の偏りや指導者の確保があがった。指導者の確保や運営面の課題について、今後検討が必要である。
- ・モデルとして選択したクラブは、単独校での活動ではなく、広域で活動しているクラブを選出した。それは、中津川市地域クラブとしての活動を見据えた視点から意見が集められるようにした。活動拠点として活動したことで、新たな活動に参加することができた。

今後の課題と対応方針

- 検討委員会を通して、市としての新しい地域クラブの在り方を整理したうえで、学校・保護者・市民に伝えていく予定である。
- 広報やHP、リーフレットにて発信していく。
- 大きな課題としては、活動場所が遠方となったときの移動手段、移動に伴う交通費等について検討が必要である。
- 公的支援が得られるように進めていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- ・週4回練習
火、木、土、日
- ・学校施設や市の施設を利用している。
- ・育成会の中に様々な役割を保護者で分担している。
- ・会長、副会長、配車、会計、各学年連絡係などがある。

活動の詳細

参加人数	25人	指導者数	9人
属性	サッカー		
具体的な内容	サッカー部が単独校で成り立たなくなり、合同チームでの活動を余儀なくされていた現状がある。各校のサッカー部顧問で力を合わせ、中津川市の生徒がサッカーができる環境を用意した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の学校にない活動ができてうれしい。 ● 他校の仲間と友達になれてうれしい。 ● レベルに応じて試合に出ることができる。 ● 練習が多いと感じていたが、慣れてくると足りないと感じている。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門の指導者に教えてもらえて充実している。 ● 教員が指導者に多いことで安心して任せられる。 ● 送迎が大変。 ● 困ったことや相談を打ち明けることができない。 		
運営経費	<ul style="list-style-type: none"> ・月謝 3,000円/月 ・スポンサー費 800,000円 ・チーム登録費 60,000円 ・大会参加費 100,000円 ・会場使用料 1,500,000円 		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

地域クラブに係る経費

取組事項

○地域クラブの運営にあたっては、持続可能な仕組みづくりを行っていく必要があることから、実証事業における収支構造の可視化を行い、適切な受益者負担額の設定を行った。

■ランニングコストの分析

【支出】		【収入】受益者負担額シュミレーション	
項目	費用		
登録料	73,000	クラブ員（37人）	2000
保険料	45,900	1か月（2,000円×37人）	74000
大会参加費	160,670	12か月	888000
施設使用料	266,596	クラブ員（37人）	3000
指導者交通費	231,980	1か月（3,000円×37人）	111000
ユニフォーム等	411,728	12か月	1332000
消耗品費	184,156		
広告宣伝費	37,114	クラブ員（37人）	4000
遠征費	59,000	1か月（4,000円×37人）	148000
雑費	69,681	12か月	1776000
合計	1,539,825		

■指導者謝金

【指導者謝金】	
10カ月（5月～2月）	400,000
1,000/1h	40時間
【スポンサー契約料】	
2社	450,000

取組の成果

○実証事業に参加し、委託経費を指導者謝金として賄うことで指導者の確保につながった。
 ○地元企業の協力を得ることで月会費を3,000円におさえることができた。

今後の課題と対応方針

○支出項目の中で受益者負担とクラブ負担するものを分けて考えていく必要がある。
 ○クラブ員の一定の加入がなければ、活動費が賄えなくなり持続可能な運営が難しくなる。
 ○持続可能なクラブ運営のためには受益者負担額を抑えていく必要があり、継続的な地元企業の協賛や行政の支援が必要となる。
 ○実証事業参加による委託経費がなくなることで指導者への謝金が支払えないため、財源確保にむけて、チームの努力とともに行政の支援を考えてほしい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・学校にサッカー部のない生徒が、サッカーに親しむことができたことは休日部活動の地域移行の好事例ととらえている。
- ・国の実証事業に参加し、指導者に対して指導者謝金として支払ったことで、指導者の確保につながった。
- ・生徒の人数が増加しても、指導者が必ず2～3名参加することで、生徒の満足感につながっている。
- ・現在は学校施設、公共施設を利用している。今後利用料等の負担をスポンサー費で対応できるようにスポンサーの募集は継続していく。

●成果の評価

- ・地域移行クラブとして活動したことで、校区の中学校にない運動部に興味をもち、選択して活動できることにつながった。
- 運動経験の少ない生徒においては、専門の指導者が多くいることで、手厚く指導を受けることが可能となった。
- ・これまでは、ボランティアとして指導に当たっていたが、実証事業の予算を指導者謝金に充てたことで、新たな指導者の増加につながった。

●今後に向けて

- ・練習場所の確保、指導者の確保、会場への送迎など個人負担が増えることは育成会でも心配の声となっている。
- ・指導者バンクを開設して、指導者が不足しているチームに指導者を紹介できる仕組みを検討していく。
- ・参加生徒数を増やすために、小学生団体の代表者に連絡を取って体験会参加の依頼をしている。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【練習指導の様子】



【新人戦の様子】



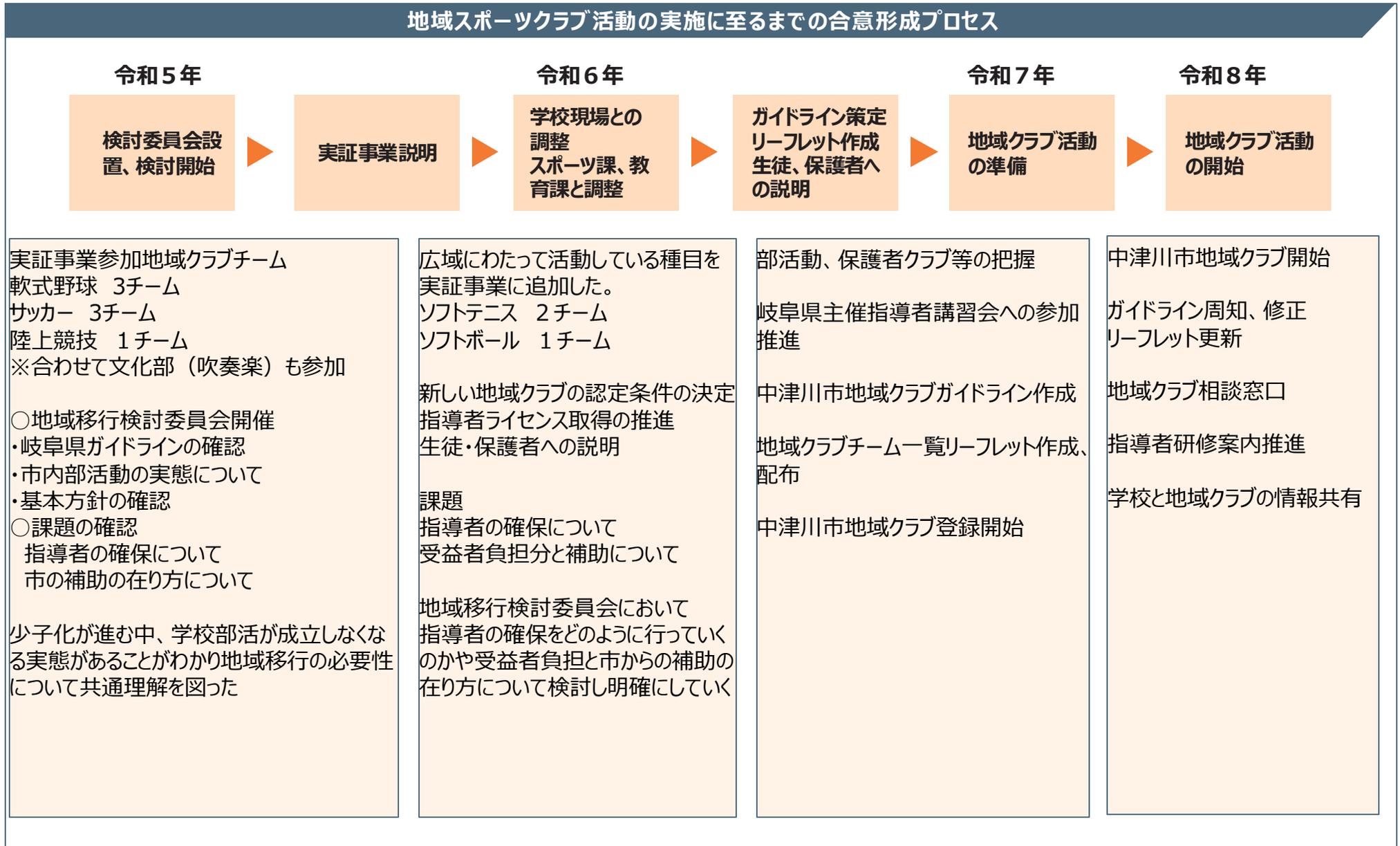
【付知・福岡 野球】



【NFC サッカー】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性



中津川市地域クラブの見通し

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
生涯学習 スポーツ課	意見聴衆会計画、開催地域クラブ（スポーツ・文化）把握	意見聴衆会計画、開催地域クラブ（スポーツ・文化）把握	ガイドライン周知 リーフレット更新 地域クラブの相談窓口	ガイドライン周知 リーフレット更新 地域クラブの相談窓口
学校教育課	ガイドライン作成 保護者クラブの把握 指導者研修案内推進	ガイドライン周知（生徒、保護者） リーフレット作成、配布 地域クラブ登録開始 指導者研修案内推進 相談窓口開設準備	ガイドライン修正 指導者研修案内推進 学校と地域クラブの情報共有	ガイドライン修正 指導者研修案内推進 学校と地域クラブの情報共有
保護者クラブ等	保護者クラブ 競技団体 各種団体	保護者クラブから 地域クラブへの移行	休日部活動の地域移行完了 地域クラブスタート	
地域クラブ				
学校部活動 平日のみ	→			

3. 今後の方向性

